

Step 2: 周りの人々とともに暮らしながら

「私たちは社会へと深く入り込み、すべての人と生活をともにし、人々の不安に耳を傾け、彼らの必要に応じて物質的にも霊的にも協力し、喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣き、他者と手を取り合っ、新しい世界の建設に打ち込みたいと思います」(教皇フランシスコ「福音の喜び」269)。

「世の中とのかかわりの中で、わたしたちは自分の希望の根拠を示すよう、ただし、指摘したり批判したりする敵のようではなく示すように確かに呼ばれています。すなわち『穏やかに、敬意をもってしなさい』(Iペトロ 3,16)」(「福音の喜び」271)。



出向いて行く教会になるために

福岡教区の「宣教司牧方針」1(2)・1(3)③

- 多くの人々が福音に触れる機会をつくる。
- 社会活動に取り組む人々を支え、協力する。

主日の福音から黙想のヒント

「…わたしたちを憐れんでください。」… (ルカ17.13)

重い皮膚病を患っている十人からのイエスへの叫びはともに担いあっている苦しみと悩みの連携から出たもの。私たちの宣教も周りの人との共感から始まる。

ともに祈りましょう (共同祈願)

- ☆ イエスとの出会いに魅せられてイエスのように生きようとする若者たちをふやして下さい。物欲から解放され、ひたむきな心が与えられますように。
- ☆ わたしたちの教会が、経済的に困った時でも、貧しい人たちのことを忘れることがありませんように。



宣教のロザリオ

アメリカのためにロザリオの一連を唱えましょう。